

平成 28 年度

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科

博士前期課程 B 類（芸術工学専攻）

入 学 試 験 問 題

小 論 文 （ 60 分 ）

【 注 意 事 項 】

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この冊子は表紙を含め 2 枚あります。  
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 解答用紙は1枚配布します。  
解答用紙が不足する場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。  
解答用紙のそれぞれに、受験番号、氏名を記入してください。
- 4 この冊子のどのページも切り離してはいけないが、余白等は適宜利用してもかまいません。
- 5 試験終了後、問題冊子は回収します。問題冊子は持ち帰ってはいけません。

## 小論文

### [設問]

18世紀なかばから19世紀にかけて、工場をもち機械による製造工業制の導入により、産業の変革と、それに伴って社会構造や社会経済が大きく変革された産業革命があった。その時期から約150年の間に社会と産業は二度の産業革命とよばれるものを経験し、いま、4回目の産業革命といわれる状況に入っている。

「インダストリー4.0 (INDUSTRIE 4.0)」とよばれているものである。これは第4次産業革命ともいわれている。これと同様に、また米国では「インダストリアル・インターネット(industrial internet)」という大きな動きも見られる。そして、欧米の動きに対応するように中国では本年[中国製造2025年]という経済計画の白書が作成された。まさに現在、世界の産業は大きな転換期を迎えている。

ここで、「インダストリー4.0」と「インダストリアル・インターネット」について、日本の状況を考慮し、800字以内で論述せよ。